

危機的状況にある人工透析医療環境の改善と拡充を求める決議

八重山郡内の人工透析患者は、1990年代は100人以下であったが、高齢化や本島と比較しても肥満や高血圧、糖尿病などリスクを抱えた人が多い事が要因で、2001年に患者数は100人を突破、その後も増え続け直近の患者数は170人余となっており今後も増加傾向にあるが、深刻な人手不足により1～2年で人工透析医療はパンク状態となり、年内にも郡内の新たな患者は、本島での人工透析医療を受ける事になると予想される事態となっている。

また、既に人工透析医療が必要な郡内出身者の帰省時や旅行者の透析の受け入れを断っている状況にもある。

このような状況下にあることから、八重山で人工透析医療を実施している県立八重山病院、石垣島徳洲会病院、よなは医院の3医療施設の院長や医師、看護師長、透析スタッフが、人工透析医療の危機的な状況や今後の対策について協議を始めているが、安定した人工透析医療継続には石垣市との更なる連携は必須として、石垣市が果たす役割への期待も大きいことから、当市議会として下記の項目を決議する。

記

- 1 沖縄県に対し血液透析などの腎代替療法に必要な医療スタッフの配置要請を行うこと。
 - 2 地域医療充実を図るため、医療スタッフの移住、定住促進を講じること。
 - 3 本島と比較しても八重山郡内は肥満や高血圧、糖尿病などリスクを抱えた人が多いことが指摘されていることから、更に保健指導並びに予防医療に取り組むこと。
- 以上、決議する。

令和5年1月17日

石垣市議会

宛先 石垣市長